

第2回 多摩市住替え・居住支援協議会 会議結果

日時：平成29年7月24日（月）午後10:00～11:30

場所：多摩市役所 第一委員会室

| | |
|------|--|
| 獲得目標 | <ul style="list-style-type: none"> ▶出張相談会の日程決定及び実施内容についての合意（細部は別途調整） ⇒9/2（土）、1/13（土）で決定 ▶住替え支援内容についての協議・意見交換 ⇒引き続き協議・来年度事業に向けて検討、次回（10月）で決定 ▶平成30年度事業の実施内容について協議・意見交換 ⇒上記同様 |
|------|--|

| 主な意見（要旨の抜粋） | | |
|----------------------|---|--|
| 箇所 | 意見等 | 方向性（対応） |
| 資3-3 3-4 | ・9月2日及び1月13日に出張相談会を実施することと、福祉なんでも相談会については、この形で進めさせていただく。 | ・チラシについて修正意見がある場合は、今週中に意見をいただきたい。 |
| 資3-5 | ・概略としては理解できるが、詳細は説明が必要。 | ・パンフレットの情報量としては良いということで、一緒にアンケートを実施し、またセミナーといった説明をする場をつくる |
| 資3-7 | <ul style="list-style-type: none"> ・目次の前にパンフレットの作成目的等、ワンクッションを置いてはどうか。 ・具体的にはどのように使うイメージか。市民に配るのか。 ・国や東京都の制度も入れても良いのでは。 ・レイアウト等見やすいが、修正するなら知らない人が見たときにどう使うかという視点で修正すべき。 | <ul style="list-style-type: none"> ・作成目的等を記載する。 ・まずは事務局での制度確認や、相談者への説明用に使うことを考えているが、最終的には市民への配布も視野に入っている。 ・国や東京都の制度も掲載することを考えている。また、掲載できるかどうかは別として民間サービスについても精査したい。 |
| 資4 （地域連携プロジェクト関連） | <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携プロジェクトについては、少しずつ学生と話ながら進めているが、市や協議会とも協力していきたい。 ・対象を分けて検討・ニーズ把握していくのは良い方法。子育て世代はSNSでつながっているなので、その発信力を考慮しながら取り込んでいければと思う。 ・団地で個人が空き室を複数所有していると聞いたことがあるので、例えば短期の契約で、ハードルを下げると物件が出てきたり、低廉な家賃物件が出てきたりして、若い世代が入る起爆剤になるのではないかと。 | ・ |

| | | |
|-------------------------------|--|---|
| <p>資 4 (地域連携プロジェクト関連)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・多摩市のハード面について、歩者分離は安全だが車の乗り降りに不便という面がある。例えばスロープ整備や動く歩道など、今後このような取組みをしていくから住み続けて欲しいというように、外から若者を呼び込むアピールも必要では。 ・地域連携プロジェクトで、学生に「子育て世帯の理想的な住宅」といった案をNT版、既存地区版として作ってもらいパネル展示してはどうか。 ・既存地域のニーズ把握について、関戸公民館の活用も考えてはどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップも踏まえて、最終的にそこまで持っていければ上出来と考えている。 ・調整中だが、市内の保育園等の保護者へのアンケートを考えている。地域ごとにニーズ把握はこちらで対応できるのではと考えている。 ・平成30年度以降について、予算編成上大きな方向性は、10月の会議より前に固めておきたい。メール等でも構わないので、ご意見を早めにいただきたい。 |
| <p>資 4 (住替え支援関連)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・女性向けのDIY講座など、人気があるのでは。 ・URでは女性社員が企画した女性目線の改良住宅を供給している。広告を出すと比較的すぐ埋まる。 ・人をどう集めるかが難しい。特に住替え支援対象である市外に住んでいる方へのアピールが難しい。 ・講座案は全部やることを想定しているのか。 ・協議会で、魅力実感ツアーとは少し違った形で、例えば小規模で回数を多くするなどして、実施を考えてもいいのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば実施したい。 ・例えば講座をする場合でも、公共施設に限らず、現場に出るということで発想を拡げて施設以外の場所の活用も考えられる。 |
| <p>資 5</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・他の協議会についての情報としては、自治体によって温度差がある。立ち上がったばかりのところが多く、相談会から始めているところが多い。セミナーを実施しているところもある。 ・いずれは、相談会を実施していく中で、住宅が見つからなかった場合への対応を用意していく必要があると考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業については、10月に決定するというにしたい。 |